

建築士事務所協会等合同新年会講演

蚕種の里「上塩尻」の 歴史と文化遺産を未来へ

2023年1月18日



前川道博

長野大学・企業情報学部教授
藤本蚕業プロジェクト代表

蚕種の里「上塩尻」の 歴史と文化遺産を未来へ

- ・ **蚕種の里「上塩尻」**
 - 歴史ある蚕種製造の中心地
 - 全国的には稀有な蚕種製造民家群
- ・ **本日の話題提供**
 - 上塩尻ってどんなところ？ まちあるき映像から
 - 蚕種製造ってなに？
 - 上塩尻から輩出した蚕種製造家
 - 上塩尻の歴史・文化資源の評価
 - 上塩尻をめぐる調査研究と地域づくり活動
 - 藤本蚕業に代表される上塩尻の資源活用
 - 未来に向けて

蚕種の里「上塩尻」

- ・ 江戸時代から蚕種製造の中心地
- ・ 優れた蚕種製造家を輩出
- ・ 現在も残る蚕種製造民家群：越屋根が特色



蚕種の里「上塩尻」北国街道沿い



蚕種の里「上塩尻」歴史的風致



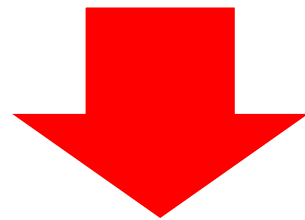
私と上塩尻との関わり

- ・ 2008年、蚕都上田・歴史文化遺産の発見
 - 笠原工業・常田館製糸場
 - ベールに包まれた上塩尻の歴史文化
- ・ 2009～、蚕都上田プロジェクト
 - 藤本工業(歴史館)、上田小県近現代史研究会とコラボ
- ・ 2016～2018、シルクロード長野ネットワーク
- ・ 2017～、上塩尻の保全活用に向けた活動
 - 日本ナショナルトラスト視察要請
 - 信州大学・梅干野研究室に調査要請
 - 講座・まちあるき・大学のゼミ活動等の連携
 - 藤本蚕業資源活用事業(2022～)

上塩尻のブレイクしない地域課題

有識者・有志からの関心は高いがよそ者である
外から騒いでいるにとどまる

住民・市民の関心は低い
(内部から盛り上がらない)



本日の課題提起
蚕種の里「上塩尻」の歴史と文化遺産を未来へ

蚕種 (蚕の卵) 製造は蚕糸業の源泉

蚕糸業

蚕の卵
(蚕種)



まゆ
(養蚕)



生糸
(製糸)



製品

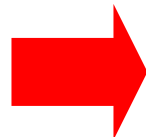
蚕の卵

まゆ



生糸

くずまゆ



紬

絹織物

キモノ

その他

蚕種製造＝交尾した蛾の卵を取る



上田蚕種で撮影



藤本蚕業歴史館の展示

蚕の卵 催青(ふ化させる)



上田蚕種株式会社

現役の蚕種（カイコのタマゴ）製造企業



上塩尻ってどんなところ？

- ・ 上塩尻まちあるき (2022/11/27実施) から
- 藤本蚕業プロジェクト主催

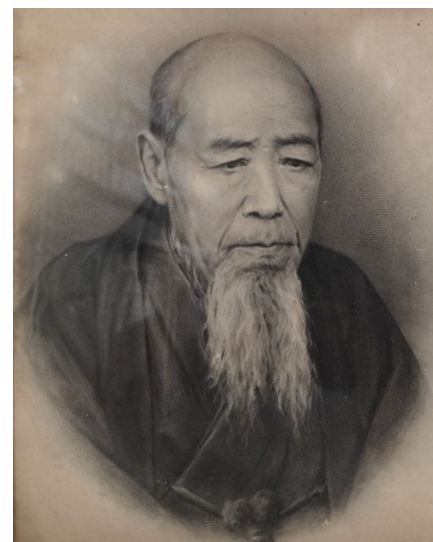
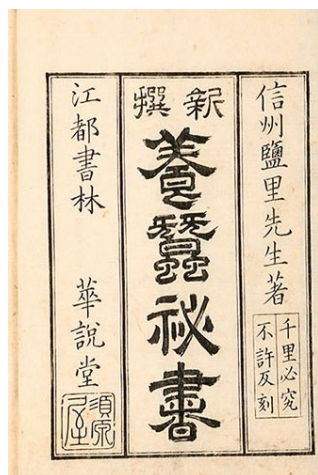


上塩尻まちあるき

2022/11/26 藤本蚕業プロジェクト主催

動画で再生
20分

上塩尻から輩出した蚕種製造家



塚田与右衛門

(1715~1810)

『新撰養蚕秘書』1757

清水金左衛門

(1823~1888)

『養蚕教弘録』1847
養蚕乾湿計の発明1871

藤本善右衛門繩葛

(1815~1890)

新品種「掛合」1845
蚕種製造大総代就任1872
『続錦雑誌』1877~

藤本蚕業歴史館の歴史的背景

旧佐藤宗家 / 藤本善右衛門

前身は蚕種製造家の旧佐藤宗家(当主は藤本善右衛門を世襲)
1908年、会社組織「藤本蚕業」に発展



藤本善右衛門縄葛(つなね)



蚕卵紙

画像提供: 藤本蚕業歴史館

現在も数多く残る蚕種製造民家群

蚕室造りの民家が残る塩尻地区(下塩尻・上塩尻・秋和)

塩尻地区で江戸時代前期(1663)から始まった蚕種業は、1800年には蚕種業の本場であった奥州を抜いて日本一の製造地となり、幕末には横浜港から大量の蚕種がヨーロッパに向けて輸出された。

蚕種業の盛んだった塩尻地区には今なお多くの蚕室造りの家が立ち並び、



桑園跡の段々畑・ゆすげと蝶の里

桑を育てるために山の傾斜地に石垣を築いて作った段々畑の跡。現在はゆすげなど草花が植えられ、花盛りには貴重種の蝶が飛来する。野鳥観察もできる。

明治時代の
蚕種販売ポスターが
現存する！

ポスターの中に NAGANOKEN SHIOJIRI MURA と英語で記してある！当時の蚕都の繁栄ぶりが想像できる貴重な資料。



明治29年(1896)蚕種販売するために販売先へ出した宣伝ポスター。当時のままの形で残る。(個人所蔵)

秋和



座摩神社

農耕・食物・養蚕の神である保食神を祀る。八十八夜に行われる例祭に養蚕の全盛期には、上塩尻だけでなく東北信地方で養蚕を営む人々が豊春祈願に訪れた。

下塩尻

上塩尻



旧信越線北塩尻駅
蚕種製造家らの講義活動により大正9年(1920)5月開業。(現西上田駅)



北国街道

信濃道分で中山道と分かれ、海野宿・上田・善光寺を経て北陸街道の直江津につなぐ街道。蚕種業の最盛期には蚕室造りの家が立ち並び、今もその面影を残している。



小岩井袖工房

日本三大袖の一つ上田袖の織元。江戸時代より蚕種製造を営み、昭和23年(1948)に袖工房を創業、上田の伝統工芸を今に伝える。



虚空山東福寺

上塩尻村民の信仰のより所であり、子弟の教育の場であった。日本有数の蚕種製造地・塩尻を築いた多くの人々がここで教育を受けた。



藤本蚕業歴史館

下塩尻を代表した蚕種製造家・藤本(佐藤)家に残る貴重な資料を展示・保存した歴史館。



塩尻小学校郷土資料館

養蚕・蚕種業に関する貴重な資料が展示され、児童の地域学習などに利用されている。

蚕室造りの民家(平成14年8月～9月に現地調査) 地図上のアルファベットと番号は、平成14年(2002)に調査した蚕室造りの民家で、たくさんの方が当時の蚕室業に携わっていた事が分かる。



蚕種製造民家とその歴史的景観



文書が物語る上塩尻の並外れた歴史



上塩尻の歴史・文化資源の評価

- 1960年代以降、有識者からの関心が続く
- 代表的な学術的研究
 - 工学院大学山崎弘研究室による調査 1989～
 - 東北大学長谷部弘研究Gによる研究 継続

上塩尻をめぐる言説・研究 小林昌人の論文(1990)

小林昌人の論文「蚕業の先駆者を輩出した上田市上塩尻の集落と民家」(『信濃』1990年1月)



第1図 上塩尻大村の景観 (提供清水憲之助氏
撮影折井正彦氏 昭和40年頃)

一
はじめに

蚕業の先駆者を輩出した上田市上塩尻の集落と民家

長野県は「製糸王国」とまで言われ、蚕糸業が盛んであった。その中でも上田市は松本市に次ぐ商都で、その経済的基盤となったのは周辺の蚕業であった。その隆盛さは「蚕都上田」とまで呼ばれたほどで、この地方の経済を初め政治や文化などにも大きな影響を及ぼすと共に全国的にも知

られた。その現れの蚕糸専門学校を三校明らかである。

その「蚕都上田」の種商人が大勢住み全次の点の特筆される1 蚕書と蚕業先駆者 江戸時代に蚕書が 五点が上塩尻の左記 塚田与右衛門 正徳 藤本善右衛門 文化

小林昌人は民俗建築学会会長『民家巡礼』(溝口歌子と共著、1961年)でも上塩尻の蚕室民家に言及している。

工学院大学山崎弘研究室による上塩尻調査 (1989-92)

上塩尻の養蚕民家集落 (ジオラマ) 1992 藤本蚕業歴史館所蔵



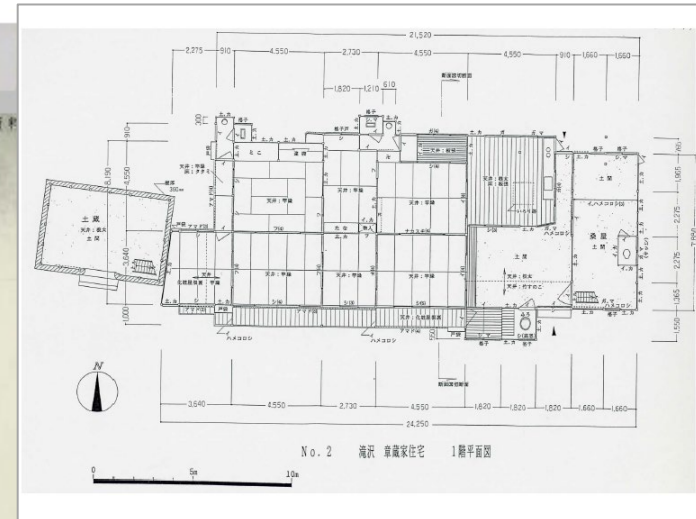
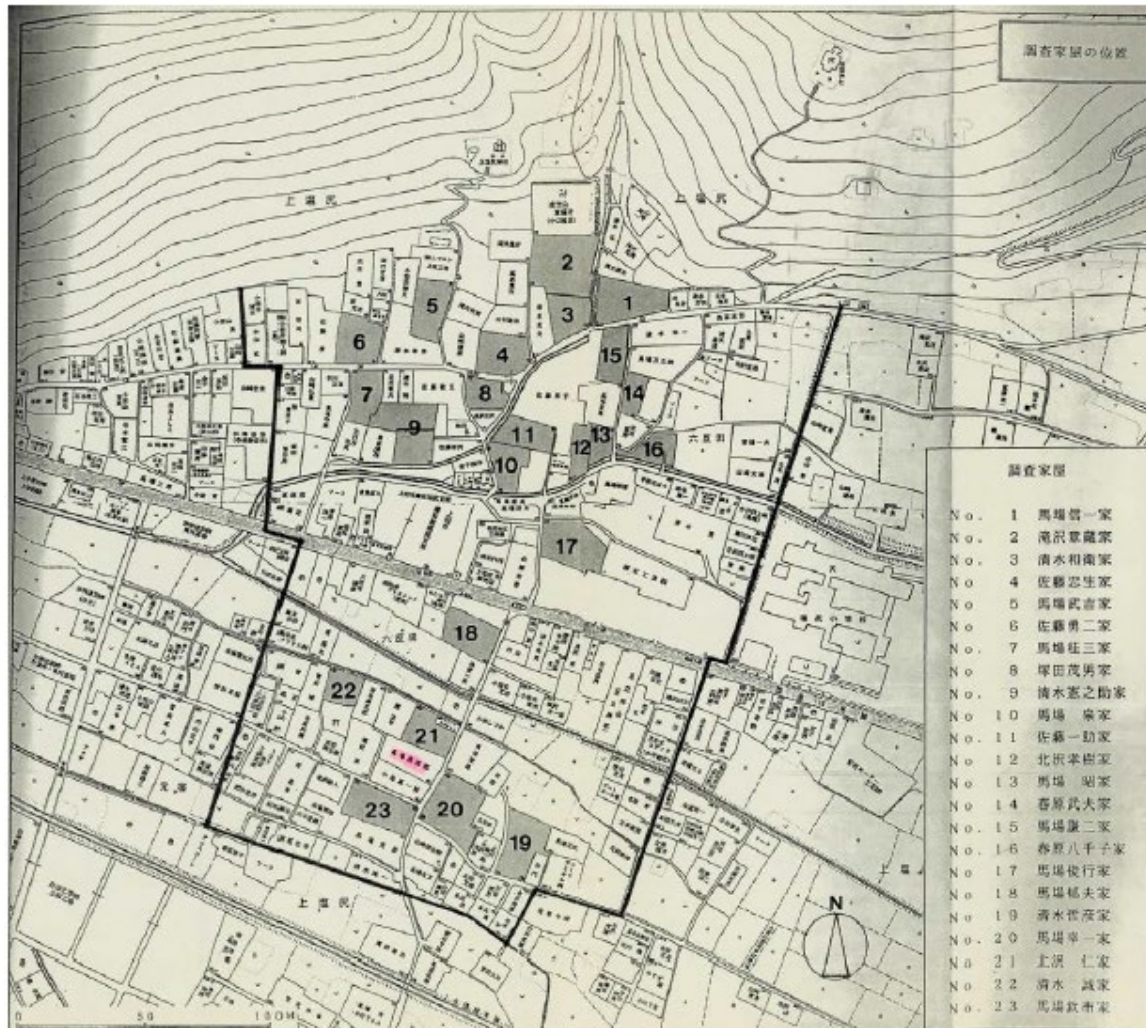
長野県上田市上塩尻の養蚕民家集落

Scale: 1/500

1992.3.28 工学院大学 山崎研究室

鈴木晶子氏 (工学院大学山崎弘研究室) 修論 「蚕書と養蚕飼育法による家屋構造への影響」(1992)

上塩尻の蚕種製造民家23の家屋を調査しその実測図面を作成



No. 2 滝沢章蔵家

杉仁氏 (1934~) の近世史研究 (2001、2009)

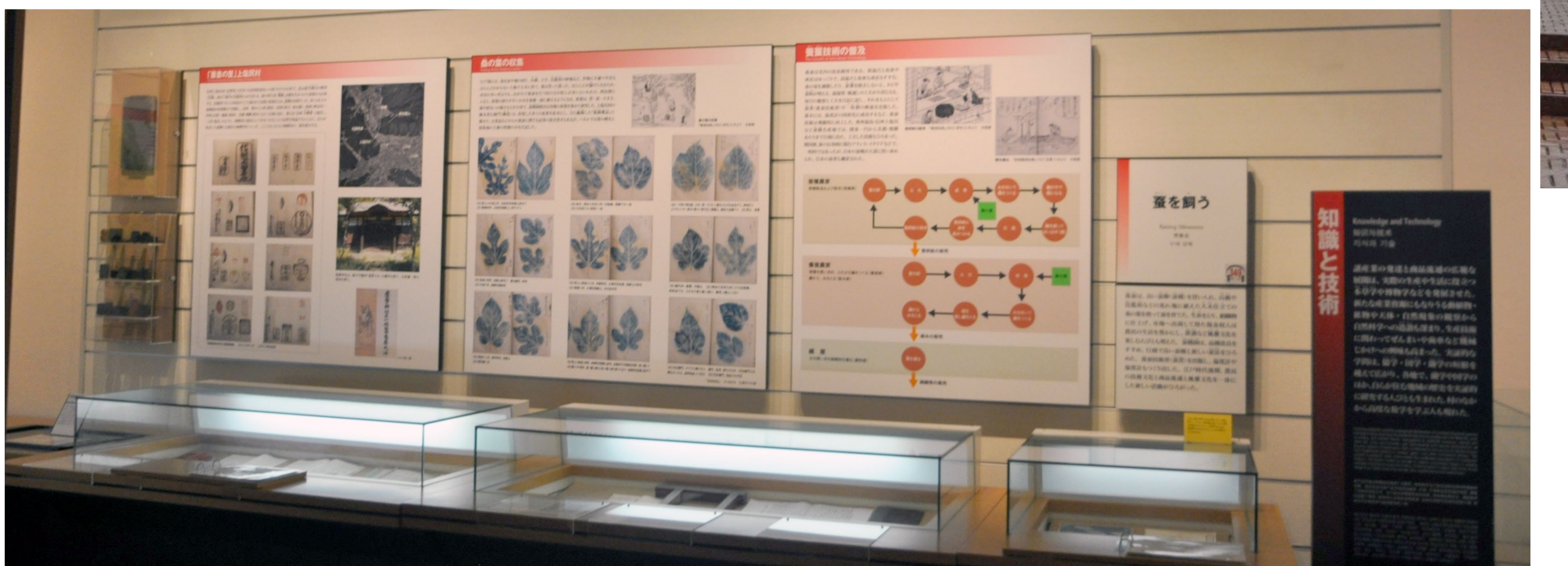
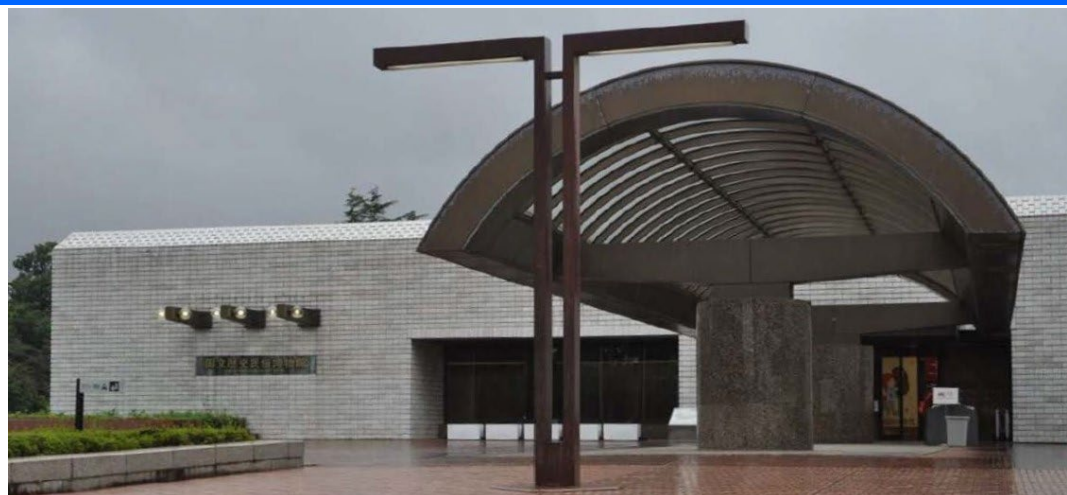


- 2001年1月 『近世の地域と在村文化—技術と商品と風雅の交流』、吉川弘文館
- ☆2009年3月 『近世の在村文化と書物出版』、吉川弘文館
- ※杉仁氏の研究成果は、国立歴史民俗博物館の上塩尻に関わる展示に活かされている。

国立歴史民俗博物館展示
「商品と技術と風雅の交流」
俳諧のネットワーク

国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市) 蚕種の里「上塩尻」の展示

第3展示室「知識と技術／蚕を飼う」に上塩尻の蚕種製造家・塚田与右衛門、清水金左衛門、藤本善右衛門らの業績が展示がされている。



東北大学長谷部弘氏と研究グループ (2006～)

近世日本の 地域社会と共同性

—近世上田領上塩尻村の総合研究 I—

長谷部弘・高橋基泰・山内 太編

執筆者

長谷部弘, 村山良之, 山内 太,
田島 昇, マーティン・モリス, 高橋基泰

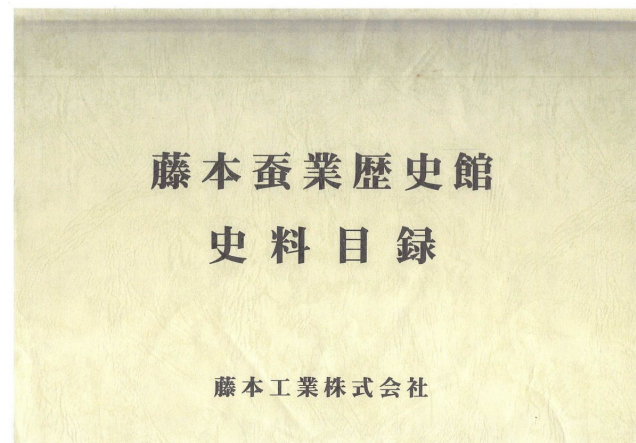
刀水書房

- 2006～2008年度 科研費研究課題「市場経済形成における村落の共同性の実証研究」
- 2009年3月『近世日本の地域社会と共同性—近世上田領上塩尻村の総合研究I』
- 2010年3月『飢饉・市場経済・村落社会—天保の凶作からみた上塩尻村』
- 2022年4月『近世日本における市場経済化と共同性: 近世上田領上塩尻村の総合研II』

上田小県近現代史研究会(1) 藤本蚕業歴史館史料目録



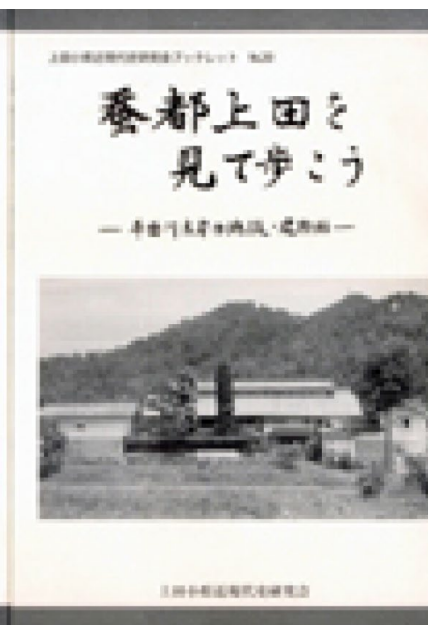
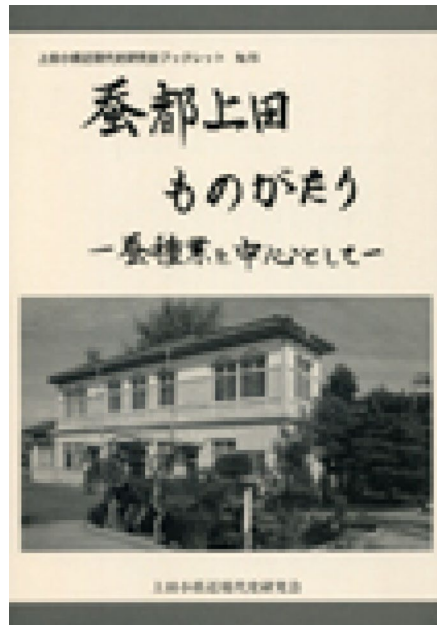
2004～2009
6年かけ藤本蚕業の史料をアーカイブ化、史料目録作成



画像提供:新津新生氏
(上田小県近現代史研究会)

上田小県近現代史研究会 (2)

蚕都上田に関わるブックレットの発刊



『蚕都上田ものがたり 一蚕種業を中心として一』2008年

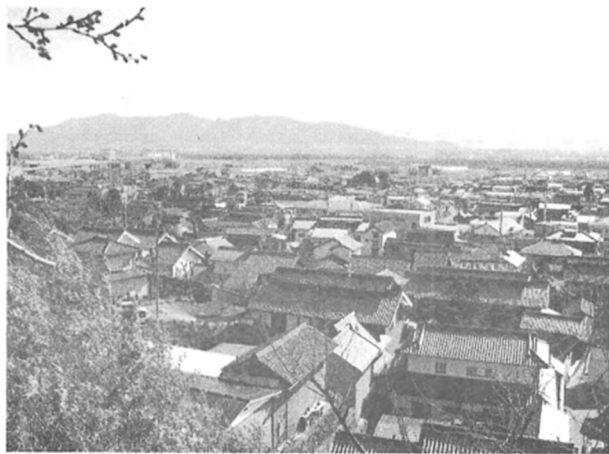
『蚕都上田を築き支えた人びと』2010年

『蚕都上田を見て歩こう 千曲川右岸の施設・建物編』2012年

『蚕都上田を見て歩こう 千曲川左岸の施設・建物編』2012年

塩尻地区近代化遺産活用構想策定事業 (2001～2005年度)

塩尻地区近代化遺産活用構想策定事業
塩尻地区近代化遺産調査事業実施報告書



平成14年3月 塩尻地区近代化遺産調査委員会

塩尻地区近代化遺産調査委員会

▼2002年3月

塩尻地区近代化遺産調査事業実施報告書

▼2003年3月

塩尻地区近代化遺産活用計画報告書

▼2003年3月

近代化遺産第2部会全データ

塩尻地区近代化遺産活用ガイドブック 編集委員会

▼2003年3月 上田しおじり(冊子)

歩こう!まゆの里しおじり」実行委員会

▼2004年4月 歩こう!まゆの里しおじり

塩尻地区観光ビジョン策定委員会

▼2005年11月 塩尻地区観光ビジョン

お出かけJ（2005年度）

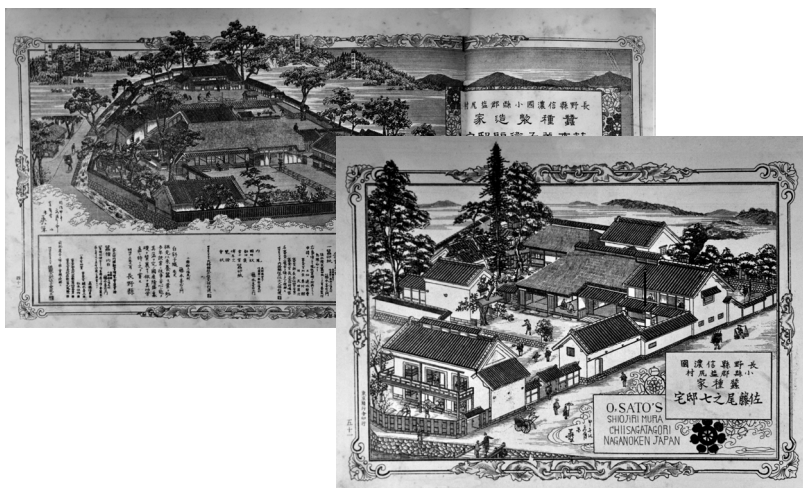
城下町上田のまちづくり・景観研究プロジェクト

上塩尻地区
まちづくり報告書

2006年3月

代表的な上塩尻の文化遺産

歴史的建造物と景観



膨大な一次資料



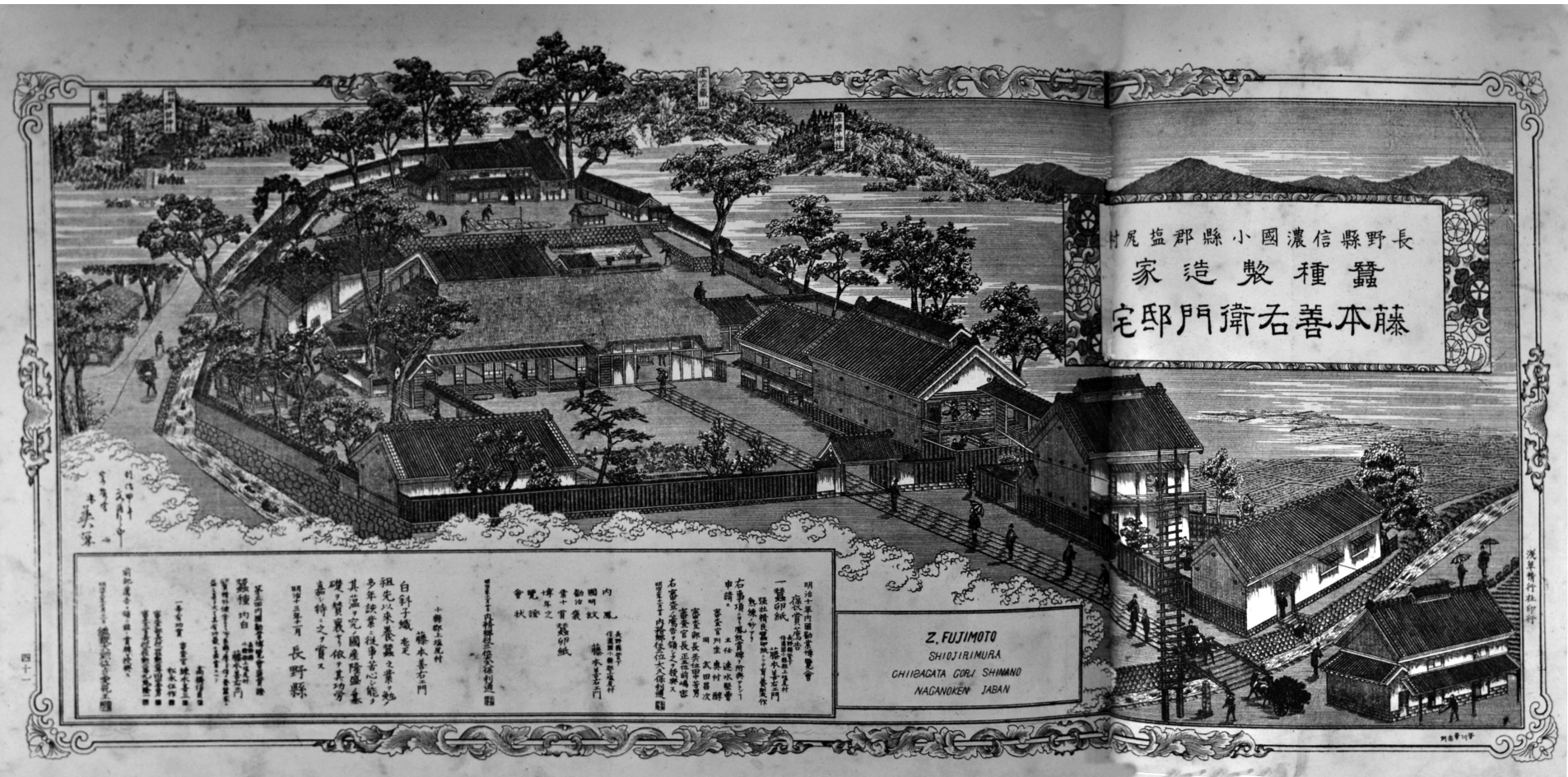
藤本関係の敷地と建物

上田市上塩尻



藤本善右衛門邸宅(旧佐藤宗家)

(日本博覧図1897所載)



『信州上田学アーカイブ』から転載 図版は上田市立博物館所蔵『日本博覧図』(1897)

<http://d-commons.net/uedagaku/archive1?c=&p=3078>

旧佐藤宗家(2003年当時)

外観



外観



外観



外観



旧佐藤宗家蚕室(2棟)



旧佐藤宗家(現在は更地)



佐藤尾之七邸宅（佐藤家住宅（三ツ引）） （日本博覧図1897所載）



『信州上田学アーカイブ』から転載 図版は上田市立博物館所蔵『日本博覧図』(1897)

<http://d-commons.net/uedagaku/archive1?c=&p=3080>

佐藤家住宅（三ツ引）



佐藤家住宅の一部



佐藤家住宅（三ツ引）（現存）



佐藤家住宅・蚕室（南側）：2011年



蚕室：1897年『日本博覧図』の図版

〔図版は上田市立博物館所蔵の『日本博覧図』（1897）から撮影〕

佐藤家住宅の一部



佐藤家住宅の一部



藤本蚕業歴史館（上田市上塩尻）



蚕種（蚕の卵）製造企業
蚕種家・藤本善右衛門を継承
1908年、企業体に移行
2009年、藤本蚕業歴史館開館



蚕種製造民家実例紹介

佐藤勇二氏宅の2階蚕室



佐藤勇二氏宅の2階蚕室



佐藤勇二氏宅の2階蚕室



佐藤勇二氏宅の2階蚕室



蚕都上田 歴史・文化財マップ

1928年、絶頂期の上田(塩尻地区)

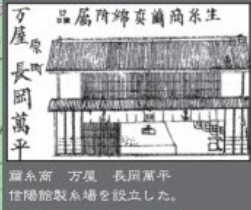
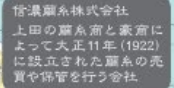
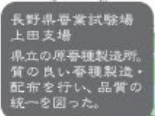
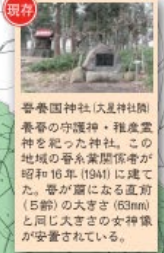
蚕都上田

(明治～昭和)
市街図

歴史・文化財マップ

<http://www.santo-ueda.jp/>

真田氏の城下町であった上田市は、北国街道の宿場町でもあった。呉服屋などの有力な商家や繭糸商が海野町、原町、柳町などに軒を連ねていた。江戸時代後期以降の蚕種業、製糸業の発展によって、市制を施行した上田市(1919年～)は、蚕都と呼ばれるようになった。市街地の周りには製糸業を営む常田製糸場、小宮山製糸場、長峰製糸場など7つの工場や上田蚕種株式会社、上田蚕業学校、上田蚕業専門学校が立地していた。また上田駅前には上田倉庫(諏訪倉庫)、上田城址には長野県蚕業試験場上田支場があった。さらに第十九国立銀行をはじめ、信濃銀行(上田銀行)など蚕糸業を支えた多くの銀行が立地していた。これらの銀行は製糸家や繭糸商、有力商人によって支えられていた。民衆のための娯楽施設が数多く建てられ、市街地と製蚕や製糸業の盛んな塩田、丸子、真田を結ぶ鉄道の開設により、市街住民だけでなく製糸女工など近郊から訪れる多くの人々で賑わった。

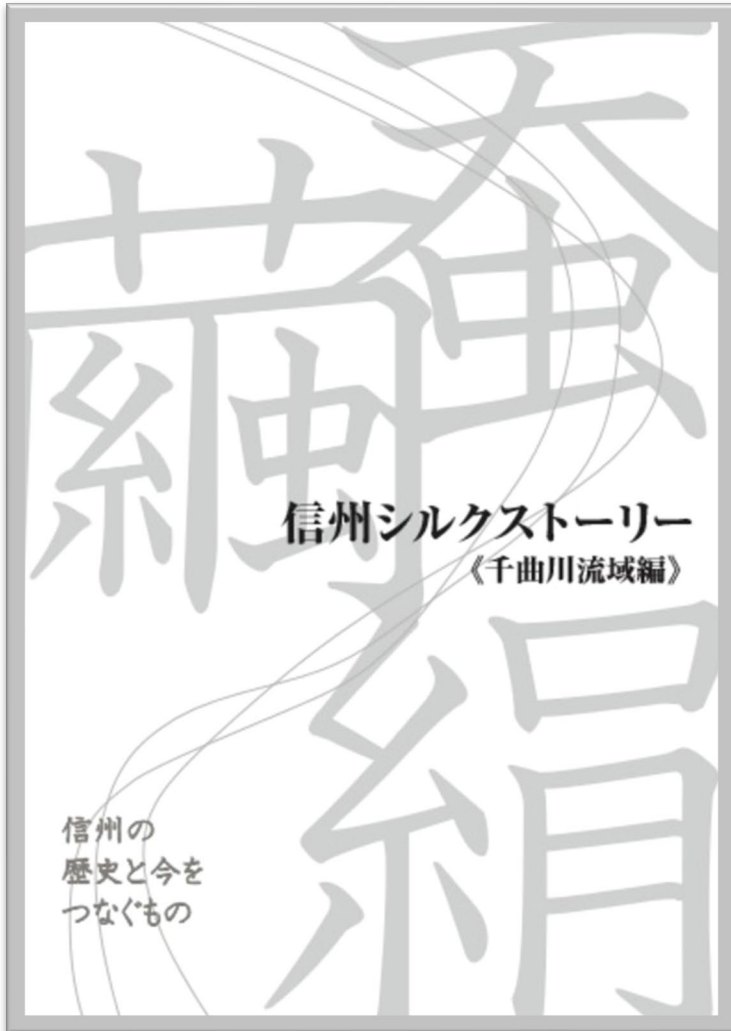


制作:蚕都上田プロジェクト

<https://www.mmdb.net/silknet/archive/ueda/page/A0139.html>



千曲川ライン＝蚕糸業ベルト地帯 観光資源としての可能性



藤本蚕業資源活用事業 ～資源活用による地域づくり～

①史料/展示資料デジタル化による
ネット展示

→長大前川ゼミ
+有志
(一部作業委託)

②デジタルアーキビスト養成
リカレント講座

→前川研究室
(DA学会と連携し
ネット開催)

③佐藤家住宅・旧佐藤宗家/
藤本蚕業歴史館見学会

→JIA長野県クラブ
→上塩尻今昔の会

④猫瓦と地域学習支援

→西部地域・部会
→上塩尻今昔の会

『藤本蚕業アーカイブ』開設

藤本蚕業歴史館ネット公開



藤本蚕業 史料目録

はじめての方へ 新規ユーザー登録 ログイン

検索 金額みる カテゴリ選択 おす下の記事

並び替え: 並び順は

登録リスト (該当: 11341件)

史料ID	タイトル	西暦	備考	発行年月	配量	目録頁	分類番号	巻・号	発行元	発行場所
史11-1	養蚕なし(原簿帳簿有製造帳簿)	1927	3枚	昭和2年	第1巻 1927年	126	昭和1-1 1-1		藤本蚕業	塩尻市
史11-2	養蚕簿式(原簿帳簿立立簿帳簿子立計算帳簿多助)	1928	原簿帳簿多助支分)	昭和3年	第1巻 1928年	126	昭和1-1 1-2		藤本蚕業	塩尻市
史11-3	養蚕なし(昭和10年度原簿帳簿製造帳簿)	1935		昭和10年度	第1巻 1935年	126	昭和1-1 1-3		藤本蚕業	塩尻市
史11-4	養蚕なし(昭和11年度(昭和10年度~11年度原簿帳簿製造帳簿)	1935	高野清司 藤本清助 上田支分)	昭和10年度	第1巻 1935年	126	昭和1-1 1-4		藤本蚕業	塩尻市

所蔵資料のデジタル化



<https://d-commons.net/fujimoto-index/>

<https://d-commons.net/fujimoto-arch/>

藤本蚕業歴史館を起点とする 全国向けデジタルアーキビスト養成講座

- 全国に向けオンラインで開催 36名受講
- 実践講座1：地域資料活用によるキュレーション講座(12～1月)
- 実践講座2：地域資料のデジタルアーカイブ化講座(2月)

までつくる 信州上田デジタルマップ

トップ > 講座等記録 > 実践講座1：地域資料活用によるキュレーション講座[第1回]

実践講座1：地域資料活用によるキュレーション講座 [第1回]

藤本蚕業歴史館で学ぶDA養成リスキル/リカレント講座
実践講座1：地域資料活用によるキュレーション講座
① 藤本蚕業歴史館に学ぶ
地域アーカイブの活用

2022年12月10日

本日のテキストは
コチラ

前川道博
長野大学・企業情報学部

<https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=11261>

ダウンロード

【講座タイムテーブル】

- 10:00 講座のねらいと概要／地域アーカイブの課題
- 10:20 受講者の自己紹介
- 10:30 藤本蚕業歴史館・概要
- 10:45 藤本蚕業・上垣尻ミニ見学
- 11:15 藤本蚕業歴史館・館内ミニ見学
- 11:40 近現代へのいざない：蚕種製造業と藤本蚕業
(12:00 休憩)
- 13:00 藤本蚕業歴史館史料目録と史料データ



<https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=11252>

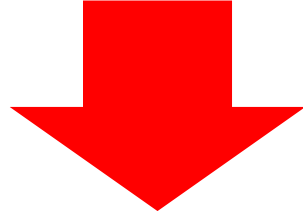
佐藤家住宅見学会 蚕種の里「上塩尻」まちあるき

- ・ 佐藤家住宅見学会 10/29実施
- ・ 蚕種の里「上塩尻」まちあるき 11/26実施



未来に向けて

本日の課題提起：上塩尻の歴史と文化遺産の活用



上塩尻の景観と個々の民家の保全活用策
建築士の皆様から提案、コミットを

地域づくりと地域学習のための
活動とネットワークづくり(住民と有志)

よろしければ藤本蚕業歴史館へお越しを
2月からサロンの的にオープンします
(日程は別途)

講演資料と連絡先

- **連絡先 お問合せ等はコチラへ**
 - 前川道博(長野大学企業情報学部)
 - メール maekawa@nagano.ac.jp
 - TEL 090-2270-5074
- **この講演の資料は以下に掲載します。**
 - <https://d-commons.net/uedagaku/?c=&p=54050>

